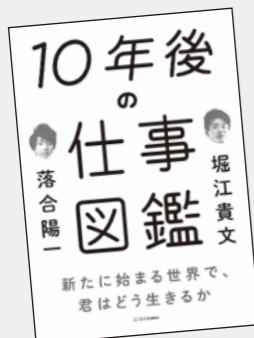




図書館通信 ～本と楽しいライブラリー～

夏の厳しさが始まります。
一涼をもとめて 図書館へお越しください



ほりえ たかみ おちあひよういち
堀江貴文・落合陽一／著
SBクリエイティブ

「10年後の仕事図鑑 新たに始まる世界で、 君はどう生きるか」

人工知能(AI)が台頭する21世紀。「なくなる仕事」と「減る仕事」を経営者の視点、AIを作る側の視点から紹介し、社会の変化を解説。激動の時代を生きるあなたに、著者が伝えたいことは…。



国立音楽大学・国立音楽大学
楽器学資料館／監修
ことくらぶ／編 ポプラ社

「楽器ビジュアル図鑑 1～6」

世界のさまざまな楽器の魅力を、写真で紹介する。1は弦楽器・鍵盤楽器、2は木管楽器、3は金管楽器、4は打楽器と世界の楽器、5は日本の伝統的な楽器、6はいろいろな合奏を取り上げ、楽器編成や歴史などをやさしく解説。演奏会の舞台裏も収録。

イベント

★アリッサのおはなしかい

(乳幼児～就園前くらい)
7月5日(木)・8月2日(木)
10:30～
場所 図書館内 わくわくのもり

<七夕特別イベント>

★ダグラスの七夕会(5歳くらい～)
7月7日(土) 14:00～
場所 市民会館1階 第2会議室

内容 パネルシアター「おりひめとひこぼし」
ミニささをデコろう☆

定員 20名
※定員になり次第終了

★水曜映画会(おとな向け)

7月11日(水) 14:00～
映画「マンマ・ミーア！」
定員 60名程度
場所 市民会館1階 リハーサル室

★もりのかみしばい屋さん

7月21日(土) 10:30～
場所 図書館内 わくわくのもり

★有田市朗読ボランティア 「ささやき」さんによるおはなし会

(子ども向け)
7月28日(土) 14:00～
場所 図書館内 わくわくのもり

★どうえいがかい(子ども向け)

8月4日(土) 13:30～
映画「オープン・シーズン」
定員 60名程度
場所 市民会館1階 リハーサル室



あかちゃんタイム 日時：7月5日・12日・19日・26日・8月2日(木) 9:30～12:00

広告

Hospital Topics ～有田市立病院～

CSセットを導入します！

7月2日(月)より、CS(ケア・サポート)セットを導入します。CSセットとは、入院時に必要となる日用品の日額定額制レンタルサービスのことで、寝巻・タオル・消耗品・おむつ等を含めた、複数プランを用意しています。詳細については、当院ホームページをご覧ください。入院の際にもご案内しますので、是非ご利用ください。



介護ねまき



日用品



浴衣・甚平

健康講座のご案内

「7月11日まで自分らしくあるために」をテーマに講座を開催します。「興味のある方は、是非ご参加ください。」

◆第9回講座

日時 7月11日(水) 14時～15時
場所 市立病院 西棟4階会議室
テーマ 『もしもの時の意思決定支援』
～人生の最期をこのように迎えるか～
講師 村木 健(社会福祉士)
問 医務課庶務係 Tel.82-12151

有田市の文化財

古来より愛される地ノ島

初島町沖に浮かぶ「地ノ島」は、海水浴やキャンプのできる無人島として多くの方に親しまれています。

今は無人島ですが、実は、地ノ島は縄文時代には人が生活していたのです。過去の発掘調査から、縄文土器や魚を捕るための網につけたおもりなどが発見されています。さらに、弥生時代には、海水を沸騰させて塩を作っていました。「製塩土器」と呼ばれる塩をつくる土器の底には、つくった当時の塩が残っていました。

江戸時代には、有田川の河床が浅いために、北港から積み出された蜜柑を小さな船から大きな船へと積み替える場所として機能していました。

今日に至るまで地ノ島は、役割を変えつつ、多くの人々の生活を支えてきました。

今年は7月1日(日)～8月31日(金)の期間で地ノ島の海水浴場が開場します。この夏、透明度の高い浜辺と歴史ロマンが残る大自然を満喫しませんか。

問 生涯学習課(文化福祉センター Tel.82-3221)

箕島の今昔ものがたり

第4回：来る！有田の未来を運ぶ鉄道！

「はじめ箕島には電車が通らん予定やったんよ」と聞いて、驚く方も多いのではないのでしょうか。今では、箕島駅を利用される方も多いと思います。しかし、大正8年(1919)2月、和歌山市と新宮の間を走る紀勢鉄道の計画では、下津から宮原へ通るルートが想定されていました。

箕島を経由したルートの実現に向けて、人々の思いを背負い立ち上がったのは、箕島町内の若々しい六人の傑人でした。リスクをかえりみず、箕島駅実現に向けて陳情活動に奔走します。そして、その努力が結実し、大正8年7月に箕島経由が決定しました。人々の念願が叶い、箕島駅にはじめて汽車が到着したのは、大正13年2月のことでした。

このように鉄をも引き伸ばす郷土への熱い思いが、鉄道をまちへ導いたのです。

ちなみに大正14年に紀伊宮原駅、昭和13年に初島駅が設置されました。



昭和初期ごろの箕島駅
(箕島町発行絵葉書)

広告